

第 548 回外環連合会議

と き 2017 年 8 月 6 日 (日) 午後 1:30~3:30

ところ 小塚山研修センター (北国分)

I. 活動日誌

6 月 4 日 第 546 回外環連合会議 (平田)

6 日 国土交通省が平成 27 年度全国道路交通センサスの集計を公表
(通常より 3 か月遅れ)

7 日 公害被害者総行動・道路全国連として国土交通省交渉
道路全国連幹事会

10 日 ヤマザキ厚生年金会館宿泊予約

28 日 全国交流集会のため市川市民会館に登録

7 月 1 日 松戸・市川市境道路と外環の交差点で古代道路 (古東海道) 確認される

7 月 2 日 第 547 回外環連合会議 (松戸)

5 日 松戸・市川市境道路と外環の交差点の古東海道調査を見学

15 日 市川市民会館抽選予約不可となる

17 日 市川市文化会館使用団体に登録、大会議室の抽選予約を行う

29 日 北国分地区外環対策協議会総会
道路全国連幹事会 (名古屋)

8 月 1 日 市川市文化会館大会議室「予約可」となる

予定

8 月 道路全国連首都圏幹事会 (交流集会運営について)
外環高速部事業再評価 (東日本高速)
市川市議会外環特別委員会

11 月 11 日~12 日 道路全国連・全国交流集会

II. 報告事項

(1) 高速部事業再評価 8 月の見込み

平成 26 年度事業再評価 (三郷~高谷)

全事業費 9,583 億円 残事業費 4,052 億円

実際の供用時期が明らかになる見込み

(2) 平成 27 年全国道路交通センサス集計結果

全国 (走行台数) × (道路距離) の経年変化は横ばい (道路のキロ数は増えているので走行台数は減少傾向ということ)

高速道路の整備が進んでも一般国道、都道府県道の交通量の減少は少ない (0.6~0.7%の減)

一般国道、都道府県道の 5 割以上が歩道未設置、両側歩道整備は 2 割

都市計画

(3) 国土交通省（都市局）が「都市計画道路の見直しの手引き」を公表

「全国の年経過悪道路の総延長 6.4 万キロのうち未着手が 2.1 万キロをどうすべきか」
高度経済成長期における都市の拡大を前提に計画されたものが多い
人口減少、低成長など社会情勢の変化を踏まえると見直しが必要
都道府県、政令市に路線の廃止などのガイドラインを示した

(4) 遺跡関係

松戸・市川市境道路で古代道路（古東海道にあたる）確認
下総国府から相馬郡衙（我孫子市）を経て常陸国府へ
その後北上し白河関で東山道と一緒に多賀城（陸奥国府）に至る
側溝を掘り下げたのち黒土を入れ突き固めた（版築工法）の跡を確認
千葉県教育委員会として公表すべき重要な発見
外環との交差に伴う拡幅工事で確認されたもので肝心な外環道路の路線内での調査は
行われていない

(5) 各地区報告、その他

北国分地区総会

横浜北線関連道路周辺で地盤沈下、住宅被害

首都高速横浜北線（第三京浜～横羽線）に横浜市鶴見区で接続する地下トンネル工事周で
最大 14 センチの地盤沈下。数十件の住宅に被害、補償へ

III. 協議事項

(1) 第 43 回道路全国連交流集会開催計画 別紙

現地報告関係は 30 分程度、現地見学を中心に説明、可能なら展示発表も
8 月末に首都圏幹事会 プログラム、司会などを決定
9 月初旬に案内を発信（a-road）、一部郵送も必要か
10 月末までに活動報告書を取りまとめ、印刷

(2) 供用開始差し止め訴訟 8 月中に見込みを付ける必要

本文はとりまとめ段階、越智、花澤弁護士らの意見を聴く
国道 2 号線裁判の足立弁護士の意見も聴く

(4) 次回以降 549 回 9 月 3 日 菅野 550 回 10 月 1 日 平田
551 回 11 月 5 日 松戸（活動報告など印刷、帳合）